

VI 久喜市立のぞみ園

平成27年度事業計画に基づき、以下の事業を行ないました。

1 利用率を高め、地域におけるセーフティネットの役割を果たします。(利用率の向上)

- ・今年度の在籍者数は12名でした。幼稚園や他施設との併用のため週に1～2回のみ利用する子どもが3名いたので、通園しない日に利用ができるように、定員より2名多く受け入れました。6月から3月まで長期入院のため欠席していたお子様がおり、実質11名の利用となりました。利用率1日平均、約6.9名、年間の平均利用率は69.8%でした。

(1) 定員 10名

現員 男児 9名 女児 3名 計 12名

(2) 入退園等

入園7名(4月1日 男児4名・女児1名 6月18日 男児1名 9月1日 男児1名)

退園1名(5月31日 男児1名)

卒園2名 男児1名、女児1名

(3) 年齢構成

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	平均
男	0	0	0	4	4	1	4.6歳
女	0	0	0	0	2	1	5.3歳
計	0	0	0	4	6	2	4.8歳

(4) 療育手帳及び身体障害者手帳の所持状況

<療育手帳>

区分	Ⓐ	A	B	C	なし	計
男	1	1	0	2	5	9
女	1	0	0	2	0	3
計	2	1	0	4	5	12

<身体障害者手帳>

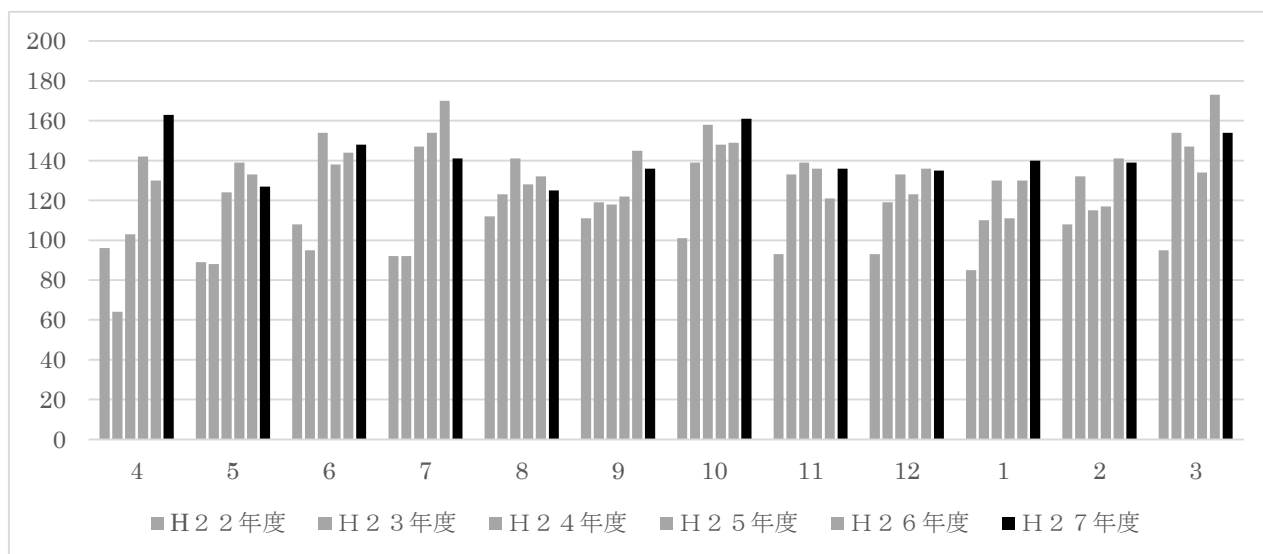
区分	1級	2級	3級	4級	5級	なし	計
男	2	0	0	0	0	7	9
女	1	0	0	0	0	2	3
計	3	0	0	0	0	9	12

(5) 利用状況

<月別>

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開園日数	21	18	22	22	21	19	22	19	19	19	20	22	244日
延利用者数	163	127	148	141	125	136	161	136	135	140	139	154	1,705人
利用率	77.6	70.5	67.2	64.0	59.5	71.5	73.1	71.5	71.0	73.6	69.5	70.0	69.8%

<年度別>



2 基本サービス

(1) 基本的な生活習慣の自立支援 (移動、着脱衣、排泄、食事等の支援・介助)

- ・個別支援計画に基づいて支援を行いました。一人ひとりの障害や発達の状況に合わせて声かけや援助を行い、少しずつ日常生活に必要な動作や行動を自分で行う姿が見られるようになってきました。

(2) 療育活動

<集団療育活動>

① 「遊び」を通じた活動

- ・子どもの発達状況に応じながら、様々な遊びを行いました。勝ち負けや順番など、ルールを学ぶことを目的とした遊び (カードめくり、椅子取りゲーム) や、友達と関わることを目的とした遊び (タッチリレー、お店屋さんごっこ) など、子ども達が興味や関心を持ち、楽しんで行えるように環境や遊びの内容、ねらいを考えながら行いました。友達への興味が広がり、言葉も少しずつ増えてくるなど、個々の成長が見られました。

設定あそび

- ・運動あそび ・音楽あそび ・体操 ・リトミック ・感覚あそび ・劇あそび
- ・ふれあいあそび ・散歩 ・プールあそび (7月～8月) 等

②体験活動

- ・誕生会や運動会などの行事をすみれ保育園と合同で行ったり、園庭で遊ぶ時に保育園の園児と関わりを持ち、交流を行いました。のぞみ園園児が保育園の園児の行動を真似るなど、園の子ども達にとって刺激となったり、友達とのやりとりを学ぶ良い機会になりました。
- ・園外療育では、親子で「さいたま水族館」に出かけました。交通手段は貸切バスを利用しました。親子で楽しんで参加することができました。

③季節に即した行事

- ・夏のお楽しみ会・七夕・親子運動会（すみれ保育園と合同で実施）
- ・年末お楽しみ会（クリスマス会）・もちつき・豆まき・ひなまつり

④地域交流

- ・発達が気になる子ども達が通う「ひよこ教室」の子ども達と交流会を企画、実施しました。ひよこ教室の子どもへの参加はなかったのですが、ひよこ教室の職員（家庭児童相談員）と情報交換を行ったり、保護者の方とたくさん関われる良い機会となりました。

<個別療育活動>

ST指導

月に1回、言語聴覚士が来園し、言葉を話せなくても子どもから発しているサイン（表情や仕草、行動等）や気持ちを受け止めて言葉にして返していきましょう、というコミュニケーションの基礎を主としたST指導を受けました。また、親と子どもと一緒に遊ぶ姿を通して母親と子どもの関係性や、関わり方のポイント、発達の段階なども学び、把握することができました。

<内容>

- ・10:00～11:30 親子で遊ぶ
- ・11:30～12:30 保護者指導
- ・13:30～16:00 職員ミーティング

<対象者・人数>

- ・全園児
- ・1回につき2～3名

PT指導

月に1回、理学療法士が来園し、肢体に障害のある子どもを対象に指導を受けました。肢体の状態を把握し、生活や遊びの中に指導を受けた動きや運動を取り入れて、支援を行いました。子ども達が楽しみながら体を動かして、機能の向上や維持を図れるように配慮しました。

<内容>

- ・9:00～9:30 職員との打ち合わせ
- ・9:20～10:40 指導（一人約20分ずつ）

<対象者・人数>

- ・肢体不自由のある幼児
- ・1回につき3名程
- ・外部参加者～久喜市在住の発達に遅れがある幼児の受け入れも行っています。

心理相談

年間6回、臨床心理士の先生が来園し、子ども達の様子を見てもらい職員が関わり方や支援の方法などの指導やアドバイスを受けたり、保護者との面談を行って発達や行動についての悩み、疑問などについてアドバイスを行いました。保護者相談は、年間延べ6名が受けました。

<内容>

- ・ 9 : 0 0 ~ 9 : 3 0 職員との打ち合わせ
- ・ 9 : 3 0 ~ 1 2 : 3 0 指導者による参観
- ・ 1 2 : 3 0 ~ 1 5 : 2 0 保護者相談
- ・ 1 5 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0 職員ミーティング

<対象者>

- ・ 全園児

OT指導

作業療法指導では、母子、職員が指導を受けました。手指の使い方や、情緒を落ち着けるにはどうすれば良いか、就学についてなど、発達の仕方や家族の様子・状況など本児の周りの環境など細かい視点からのアドバイスや指導を受けました。

(3) 就学支援

- ・ 特別支援学校の見学、就学に関する情報交換を行う就学座談会を実施しました。

(4) 保護者支援

- ・ 親子登園日を利用した勉強会、年に3回の個別面談を実施しました。

(5) 健康管理支援

- ・ 毎月1回、身体測定（体重、身長測定）を行いました。
- ・ 年に2回、内科健診と歯科検診を受けました。

(6) その他

- ・ 見学者、研修生、ボランティアの受け入れを行いました。
- ・ 隣接するすみれ保育園と月1回連絡調整会議を行いました。行事や給食の提供、交流などについて協議を行い、連携を持ちました。

<行事・療育指導等の実施状況>

月	行事、定例活動	療育活動
4	14日 身体測定	16日 PT指導 28日 ST指導
	22日 誕生会	
	23日 避難訓練	
	24日 グループ親子登園日	
5	13日 身体測定	18日 ST指導 21日 PT指導 25日 心理相談
	27日 避難訓練	
	22日 グループ親子登園日	
	26日 内科健診	
6	2日 歯科検診	3日 ST指導

	<p>9日 学校見学 (上尾かしの木特別支援学校)</p> <p>11日 (熊谷特別支援学校)</p> <p>16日 学校見学 (久喜特別支援学校)</p> <p>16日 身体測定</p> <p>24日 避難訓練</p> <p>26日 グループ親子登園日</p>	<p>18日 PT 指導</p>
7	<p>14日 身体測定</p> <p>17日 夏のお楽しみ会</p> <p>22日 避難訓練</p>	<p>1日 ST 指導</p> <p>16日 PT 指導</p> <p>27日 心理相談</p> <p>30日 OT 指導</p>
8	<p>17日 身体測定</p> <p>26日 避難訓練</p>	<p>5日 ST 指導</p> <p>20日 PT 指導</p>
9	<p>9日 避難訓練</p> <p>10日 誕生会</p> <p>14日 身体測定</p> <p>24日 就学座談会</p> <p>25日 グループ親子登園日</p>	<p>2日 ST 指導</p> <p>17日 PT 指導</p> <p>28日 心理相談</p>
10	<p>3日 親子運動会</p> <p>13日 身体測定</p> <p>16日 園外療育(さいたま水族館)</p> <p>22日 人形凧鑑賞</p> <p>23日 グループ親子登園日、内科健診</p> <p>27日 避難訓練</p> <p>30日 歯科検診</p> <p>28日 内科健診</p>	<p>7日 ST 指導</p> <p>15日 PT 指導</p>
11	<p>18日 身体測定</p> <p>25日 避難訓練</p>	<p>4日 ST 指導</p> <p>5日 OT 指導</p> <p>19日 PT 指導</p> <p>30日 心理相談</p>
12	<p>14日 身体測定</p> <p>17日 歯科検診・ブラッシング指導 (久喜市歯科医師会・啓和会共催)</p> <p>22日 避難訓練</p> <p>18日 もちつき</p> <p>22日 年末お楽しみ会</p>	<p>2日 ST 指導</p> <p>9日 PT 指導</p>

	24日 誕生会	
1	13日 身体測定 22日 グループ親子登園日	6日 ST指導 21日 PT指導 25日 心理相談
2	3日 豆まき 10日 誕生会、おはなし会 17日 身体測定 26日 グループ親子登園日 29日 避難訓練	3日 ST指導 18日 PT指導 22日 心理相談
3	3日 誕生会 11日 卒園式 17日 身体測定 22日 ひよこ教室交流会 23日 避難訓練 25日 お別れ会	1日 ST指導 18日 PT指導

<見学者の受け入れ>

月	見学者	回数	人数
4月		0	0
5月	個人、家庭児童相談員、保健師	1	5
6月	個人、家庭児童相談員	1	4
7月	個人	2	5
8月	個人、家庭児童相談員、ケースワーカー	2	9
9月		0	0
10月	個人、保健師	3	7
11月		0	0
12月	個人	1	3
1月	個人	1	2
2月	個人	1	1
3月	個人、保健師、保育課職員	1	5
合計		13件	41名

<研修生、体験活動の受け入れ>

月 日	学校名	人数	研修内容
5月13日、19日、 20日、27日	貞静学園短期大学	4	社会福祉現場実習
7月9日、10日	久喜市立太東中学校	2	職場体験
8月6日、11日	聖徳大学	2	社会福祉現場実習
8月12日	埼玉県立大学	1	社会福祉現場実習
8月19日	東京未来大学	1	社会福祉現場実習
8月21日	東洋大学	1	社会福祉現場実習
8月25日	東京未来大学	1	社会福祉現場実習
9月7日、9日	聖徳大学	2	社会福祉現場実習
9月8日	埼玉県立大学	1	社会福祉現場実習
9月10日、14日	埼玉学園大学	2	社会福祉現場実習
10月8日、13日	埼玉保育教育学院	2	社会福祉現場実習
1月21日、28日	埼玉福祉専門学校	2	社会福祉現場実習
2月10日、24日	埼玉純真短期大学	2	社会福祉現場実習
2月17日	埼玉学園大学	1	社会福祉現場実習
3月9日	聖徳短期大学	2	社会福祉現場実習
年 間		26	

<ボランティアの受け入れ>

月別	活動内容	回数	人数
5	戸外あそび見守り	2	2
6	室内あそび見守り、散歩見守り	2	2
8	室内あそび見守り	1	1
9	室内あそび見守り、散歩見守り	2	2
10	運動会写真撮影	1	1
11	散歩見守り	2	2
12	室内あそび見守り	1	1
2	おはなし会参加	1	1
3	戸外あそび見守り	1	1
合計		13	13

3 自主事業

(1) 延長療育

- ・9:00~9:30、15:30~16:00の間、年間延べ134名が利用しました。仕事を持つ保護者の方の利用が多く、延長時間の必要性を感じました。今後も継続していきます。

(2) 保護者登園日を利用した勉強会の実施

- ・グループ親子登園日を利用して勉強会を実施しました。1回につき、2～3名の保護者の方が参加しました。

6月26日 「君が僕の息子について教えてくれたこと～DVD鑑賞」 会話はできないが、自閉症である自分自身の気持ちをキーボードで文字を打ち、伝えることができる東田直樹さんについてのドキュメントを観ました。「(子どもは) 自分の気持ちを伝えることは上手にできないけれど、もっと理解してあげたい、と思った」などと感想を聞きました。

10月23日 「ふれあい遊び」 親子でのスキンシップを図ることや、手・足など体の部位へ刺激を与えていろいろな感覚に慣れていきましょう、という内容で行いました。親子で楽しみながら行う姿が見られました。

2月26日 「手指の使い方や、衣服の着脱について」 手指の使い方 (つまむ、握る、お箸を使う等) や、手指を使った遊びや、衣服の着脱の仕方、コツなどについて話をしました。家庭で行っている援助の仕方や工夫など、保護者同士で伝え合いながら行いました。

- ・保護者、職員間で情報交換を行ったり、様々な知識を学ぶ場として今後も実施していきます。

(3) 母親以外 (父親、祖父母) の家族登園日の実施

- ・ST指導日に父親、祖父母と一緒に来園して指導を受けました。子どもとの遊びを通して、父親 (祖父母) が普段疑問に感じていることや、父親が子ども自身に対して思っていることを把握することができました。また、関わり方や、疑問に感じていることについての回答やアドバイスをを行っています。

(4) 就学のための相談会 (特別支援学級や学校の見学、卒園児保護者と在園児保護者との座談会)

- ・上尾かしの木支援学校、久喜特別支援学校、宮代特別支援学校、熊谷特別支援学校の見学を行いました。
- ・9月に、久喜市ゆうあい、久喜市あゆみの郷利用者の保護者の方 (5名) に協力していただき、就学座談会を行いました。
- ・見学や座談会を通して就学先の情報を得たり、先輩の保護者からアドバイスをもらうことによって、就学先を考える良い機会となったようです。
- ・座談会では、特別支援学校がどのような活動を行っているのか、特別支援学級に入るための日常生活の自立度はどのくらい必要なのか、などの質問が保護者からありました。また、就学だけでなく、学校を卒業した後の進路についてもアドバイスをもらいました。

(5) 歯科検診・ブラッシング指導

- ・12/17、啓和会と久喜市歯科医師会の共催による歯科検診・ブラッシング指導を「いちよの木」にて実施しました。参加者は10名 (園児5名、保護者5名) でした。また、質疑応答では歯みがきの仕方や歯の健康維持のために疑問に思っていることなど保護者から質問が出され、的確なアドバイスをもらいました。

(6) 日中一時支援の検討

- ・地域の在宅の障害児へ日中の活動の場を提供できるように検討をしました。在宅の障害児の情報を得るため、関係機関との連携や久喜市との協議を今後も図っていきたいと思います。

4 重点事項

- (1) PDCAサイクルを利用し、体系化した支援を充実させる。
 - ・個別支援計画を作成、支援、評価をし、それをもとに改善、実行していく流れを職員、保護者、療育指導者の間でも情報を共有しながら行うことができました。
- (2) 職員の資質向上
 - ・「中川の郷療育センター」で療育指導を受けている園児に同行し、療育の指導者からアドバイス（手先の使い方や、遊びの方法など）を受けました。日々の活動の中に取り入れ、支援の参考としました。

<職員の研修>

※外部研修

研修名	主催	期日	参加人数
平成27年度 児童福祉施設におけるクッキング講座	埼玉県栄養士会	9月19日	3名
てんかん教室	埼玉県立小児医療センター	11月28日	4名
平成27年度 埼玉県障害者虐待防止・権利擁護研修	埼玉県社会福祉協議会	12月16日	1名
		1月18日	1名

※内部研修

研修名	期日	参加人数
啓和会 虐待防止に関する研修	3月4日	3名
のぞみ園 発達障害についてとその対応について	8月20日	4名

- (3) 危機管理の体制整備
 - ・災害が起きた時に、まずは隣接するすみれ保育園との連携が必要になるため、災害が起きた時の伝達の仕方や避難場所などについて協議を進めました。月1回行っている避難訓練などでもすみれ保育園との連携を取れるように今後も協議を進めていきたいと思います。
 - ・緊急時の体制図を事務室内に掲示し、職員にも日頃から危機管理の意識が持てるようにしました。
- (4) 地域福祉活動への積極的参加
 - ・久喜市子育て支援課が行っている発達が気になる幼児が通う教室「ひよこ教室」と交流会を企画しましたが、残念ながらひよこ教室に通う子ども達の参加が今年度はありませんでした。園の子ども達とひよこ教室の子ども達に関わり、交流を持てるように今後も行っていきたいと思います。

